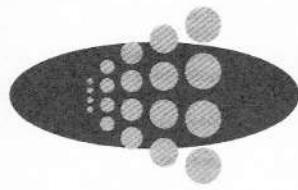


躍進

Y A K U S I N

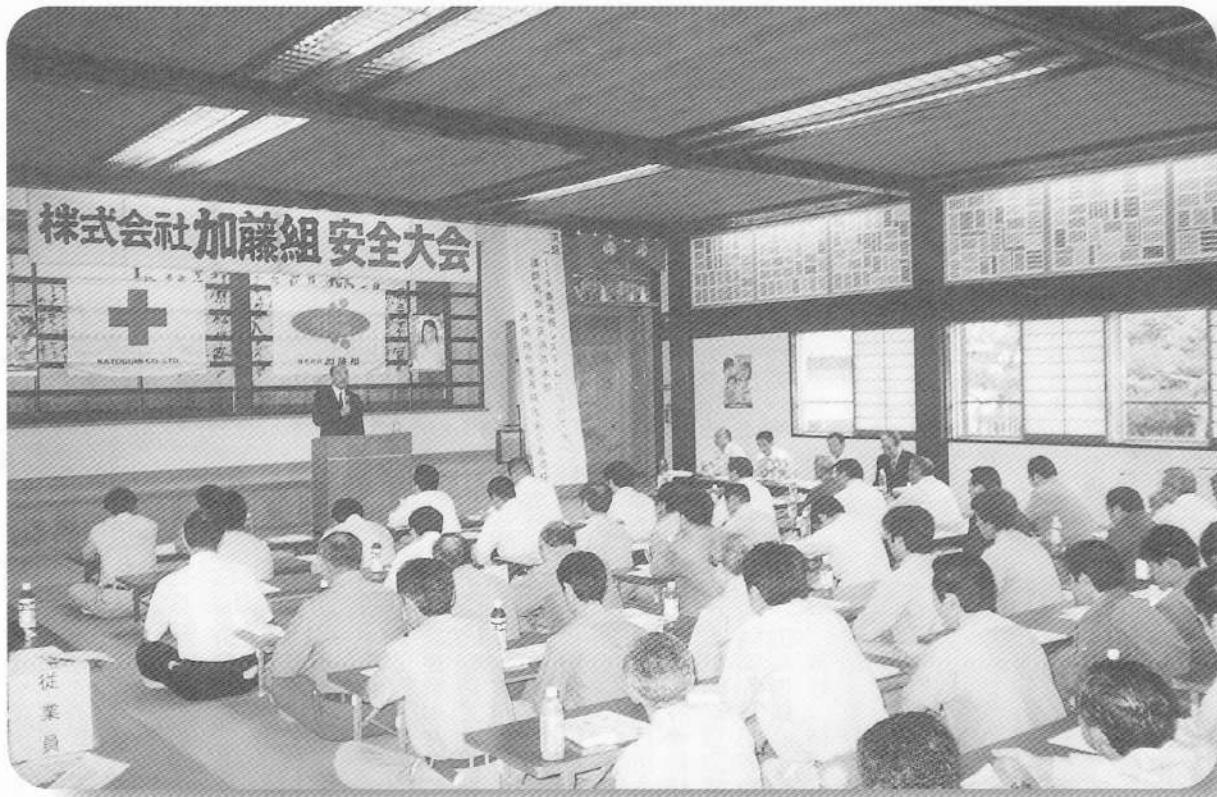
No.34

株式会社 加藤組 社内報「躍進」
発行日／平成15年8月12日
男鹿市脇本脇本字向山18-6
TEL 0185-25-3001(代) FAX 0185-25-2234

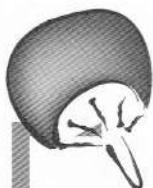


KATO

光飯商事株式会社
日本アスコン株式会社



平成15年度安全大会



暑中お見舞い
申し上げます
平成15年8月



「平成15年度安全大会」

危険をみつけて進める改善

高めよう職場の安全管理

平成15年度の全国安全週間（7月1日～7日）スローガン



安全衛生委員会
議長 鈴木 耕一



本年で76回目を迎える全国安全週間——。昭和3年に初めて実施されて以来、「人間尊重」という嵩高な理念の下、「産業界における自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、本年に至っている。これは先人達の搖ぎない信念の結集によつて築かれた大いなる財産であると、敬意を表するものである。このようなインパクトある社会情勢の中で、本年も7月4日(金)(午後1時30分～4時30分まで)、当社の「安全大会」が挙行された。

当日は好天にも恵まれ、参加者の出足も良好に展開された。お陰様で、全体の出席率も昨年より好調なアップを見た。また、協力会社には46社に案内を差し上げ、41社(47名)の出席があり、本年度の出席率は89.1%（前年度71.7%）プラス17.4%。また、当社従業員の出席人数は76名中、48

名。本年度の出席率は63%（前年度56.1%）プラス7.0%という結果である。ご覧のように、単純に協力会社と従業員の出席率を比較しますと、従業員の方がマイナス26%という数字になる。これは何を意味しているとお感じでしょうか？

当社の安全五か条に「自分の体は自分で守ること」という一説がある。

常日頃より様々な安全集会、講習会等に積極的に参加し、自分の体を守るにはどのような手法、手段があるかをしっかりと身につけておく必要がある。（家族のためにも、そして会社運営のためにも……）

今回の安全講話の講師には、以前と少し趣向を変え、男鹿地区消防本部より3名の方々をお招きした。

一、演題「119番通報システムについて」

・講師：通信指令室長補佐 消防司令 米谷義雄様

二、演題「救急応急手当について」

・講師：救急救命士 消防士長 武田英俊様

三、演題「防火について」

・講師：東分署長 消防司令 伊藤弘様

以上、3名の方々（それぞれ30分程度）のタイトルを拝見しただけで、我々の日常生活において、いかに生命に関し大切な内容をお話し頂いたか！明確に認識いただけましたよ。

と考へている。

安全に関する取り組みが、従業員や協力業者の意識として根付き、日

常業務の一環として自然に出てくる状態。これらが絶えず永続的に向上してゆく状況を作り出してゆければ、と常々願っている。

安全管理で一番大切なものは、「如何に現場を、職場を愛しているか」、『作業員に思いやりを持っているか』だ、と先人は説いています。

当社も、本年の「安全大会」を契機に久遠の無事故・無災害を誓い合

う。

昨今の厳しい経済情勢の中では売上・利益の追求に全力を上げなくては

は会社自体の存続すら危ぶまれる状況である。安全に関する活動はこれらに直接は結びつかないだけに、ともすれば後回し、形式だけのおざなにされがちである。しかし、「人間の命は地球よりも重い」という安

全最優先のテーマを鑑みた時、やは

り人命尊重の基本理念を、一人一人の胸に強く刻み込む必要がある。ま

してや当社も現在、ISO9001・2000年版の認証取得に向け、問題を抽出し是正・予防処置をするこ

と、このP.D.C.Aを絶やさず廻すことの効果を理解し始めた段階である。

このISOで学びとったP.D.C.Aを安全衛生管理の安全施工サイクルに準用し、これらを体系化して各現場の安全衛生管理を実行運営させ、システムとしてこれらが廻るように整えてゆきたい。その延長線上で、建設業労働安全衛生マネジメントシステムが取り入れることができれば、と考えている。

安全に関する取り組みが、従業員や協力業者の意識として根付き、日常業務の一環として自然に出てくる状態。これらが絶えず永続的に向上してゆく状況を作り出してゆければ、と常々願っている。

安全管理で一番大切なものは、「如何に現場を、職場を愛しているか」、『作業員に思いやりを持っているか』だ、と先人は説いています。

当社も、本年の「安全大会」を契機に久遠の無事故・無災害を誓い合

安全大会表彰者

常務取締役 太田 健一

おめでとうございます。これからも
ご健闘をお祈り申し上げます。



協力会社

(株)米謙材木店様
(有)臨海工機建設様

従業員

夏井 直弥さん
金子 憲行さん
船木 秀悦さん
佐藤 洋幸さん



経営の責任者として、「ISO」における品質方針の企業理念を設定しておりますので、説明を加えて紹介致します。

『当社の専門技術を駆使し常にベストを尽くし、地域社会への貢献と共に顧客の満足と信頼を得る』

当社の社員は、社訓に則り行動することとする事の企業理念を持つており、専門技術とは社訓における「独自の技術と総合技術の妙味」に繰り返し、また地域社会の貢献は、中央地区の建設業としては一・二番の活動力と考え、「技術」は高品質の製品を作り込み、「地域社会の貢献」は企業への信頼・安心感を生み、それらが工事の受注に繰り返し企業の安定した存続がはかられます。
またこの品質方針について次の事項も確実に実行する事としております。

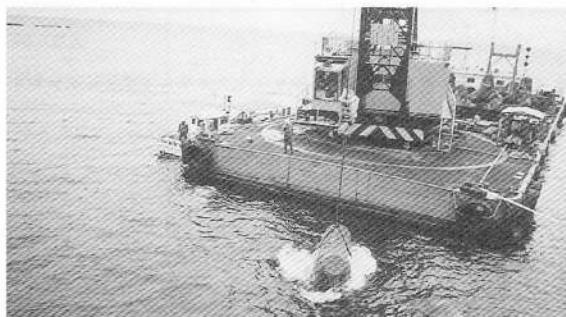
- 一、顧客の信頼を第一に誠意をもつて行動する。
- 二、技術力・管理力を高め、信頼性の高い製品を作り込む。
- 三、基本を守り、品質・原価・納期意識に徹する。
- 四、適切性を持続するために、定期的及び隨時見直しを行う。

以上の事を品質管理者を通して、全社員・社内各部署に周知すると共に、各現場にポスターを掲示、あらゆる機会を通して教育の徹底をはかりております。
現在は一九九四年版から二〇〇〇年版への移行審査の準備中であり、私も含め全社員、特に関係部署の職員には、大変に難儀をかけております。

門前漁港 機能高度化工事



現場レポート



工事場所：門前漁港
工期：平成15年5月29日～10月31日

私は、現場担当者に任命されたとき、少々不安でした。それは、久々の防波堤工事で海上作業を伴うからです。男鹿市発注の門前漁港機能高度化工事の概要是、高さ6m、幅9.2m、延長18mのコンクリートで防波堤を延長する工事です。それに附随した根固、被覆、消波のブロックの製作と据付工事です。この工事の課題は、海上作業の工程にあります。海上が穏やかなお盆までの期間に、計画された工程が達成されることです。施工は、椿漁港でブロックの製作、門前漁港では、基礎工である捨石の投入、均し作業と始まり、方塊ブロックの据付や各種のブロックを水中に据付します。その後、今工事の主となる上部工（全体で1000㎥の生コン打設）を4回に分けて、100㎥の配管した防波堤の先端までポンプ車で送り打設することです。完了後、消波工として32tテトラ133個を据付して工事は完成します。現場は男鹿でも有数の観光地で旅館や民宿があるので、地域住民にご迷惑をかけないよう常に安全第一を忘れず、関係者一同頑張っています。

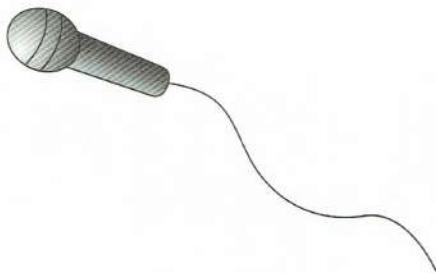


土木部 土木課 課長
夏井 直弥

現場レポート



若美町役場庁舎 外構工事



工事場所：
若美町役場庁舎
工 期：
平成15年6月4日～
9月30日

当工事は、若美町に建設中の役場新庁舎の外構工事です。工事の概要是、舗装・側溝・植栽・解体・カーポート新設などで、工期は平成十五年六月四日から平成十五年九月三十日まで、建築工事と完成の工期が同じということで、建築側との密な打ち合わせがポイントとなります。

現場は、建築工事の足場解体等に阻まれ、なかなか作業が進みません。普段の工事では建築側（私は建築課です）にたつて外構工事を考えていましたが、こうして逆の立場で工事をすると今まで見えなかつた点が出るなど考えさせられる場面があり、いい経験になります。又、現場内で安全協議会を設置していますが、建築工事が大手の大林組といつことで安全管理がこれでもか！ というほど徹底されていて参考になります。

工事は、盆明けから本格的にになります。最後まで無事故で完成を目指して頑張ります。



土木部 建築課 主任
三浦 豊

嬉 樂しの「札幌と美瑛・ 富良野の旅



●サッポロビール園にて

日程	行程		
1 6/12 (木)	加藤組前 買切バス - 秋田港	新日本海フェリー (2等) 6:00頃 6:30頃 7:00頃	
	～～ 苦小牧 買切バス <道央道>	17:20頃	
6/19 (木)	サッポロビール園 (夕食)	18:30頃 20:00頃	ホテル 20:30頃
2 6/13 (金)	ホテル 買切バス <道央道> — 上富良野フラノーブル —	9:00頃 12:00頃 (昼食) 12:50頃	
6/20 (金)	— かみふらのフラワーランド — 北西の丘 (十勝岳を眺望)	13:00頃 13:40頃 13:50頃 14:20頃	
	— 丘の街・美瑛 (バッチャワークの路) — ホテル	14:40頃 15:10頃 17:00頃	
3 6/14 (土)	ホテル 買切バス 大雪山層雲峠ロープウェイ~リフト (往復)	9:00頃 11:00頃	
6/21 (土)	— 層雲峠・銀河・流星の滝 — 大函・小函	11:40頃 11:50頃 12:15頃	
	— 上川 — <道央道> — 新千歳空港 JAS85便	12:40頃 (昼食) 13:30頃 17:25	
	秋田空港 買切バス 加藤組前	18:20 18:30頃 20:10頃	



6月に研修旅行があり、札幌・富良野に行き大自然を楽しめました。ほとんどの人が始めての乗船だったと思うついで、新日本海フェリーで秋田港から苫小牧までの約十時間何事もなく、無事北海道に到着。そこからバスで移動し、夕食を食べに札幌ビール園で工場直送の生ビールとジンギスカンを飲み、食べまくりました。夜はお楽しみのススキノへGO! 皆さんそれぞれ楽しんできたと思います。二日目は、層雲峠温泉でゆっくりと日頃の疲れを癒し、そして夜はまた飲みまくり! エリーゼ朝から雨が降り、ロープウェイからの景色を見る事が出来ず、残念でした。昼食時に寄った所にあつた「アイスバビオン」でマイナス40度を体験し、「あれは寒かった!」といつりまた感じで北海道を楽しんできました。やっぱり北海道はいい!! また行きたいと思います。

最後に一句。
「宴会は 年をとつても 変わらない」

北海道といえば魚介類。そんなイメージを持つていた私は、プランを見て正直、ちょっとガッカリした。でも、折角北海道に行くんだから意地でも海の幸を食したいと思い計画を練った。

札幌の朝、5時半起床。タクシーで二条市場へ行き、そこで新鮮なウニ丼を食べた。その格別な味のウニ丼は、睡眠時間が2時間という苦痛を完全に忘れさせてくれる程おいしかった。

ラベンダー園、バッチャワークの丘では時期が早過ぎた為、感動を味わえる景色を見る事ができなかつたのは、とても残念だつた。いつか、本物のバッチャワークの丘を見てみたい。層雲峠では、3ヶ所のそれぞれの特徴をもつお風呂すべてに浸り、身も心も癒された夜だつた。ライトアップされた大自然の中での入浴は特に和ませられた時間だつた。

今回の旅行では、色々なものに出会える喜びを思い出させてもらつた。これからも、色々な土地に出向き、そこにある色々なものに触れて、自分の視野を広げていきたいと思う。

今井さつき

佐々木 巧

第25回 4校で熱戦繰り広げる

加藤杯争奪 選抜少年野球大会



第25回加藤杯争奪選抜少年野球大会が去る5月31日に男鹿東中グラウンドを会場に、25回という節目の大会であり、初めて河辺地区より大正寺中を招待し、前年度優勝の男鹿南中、さらに天王南中、地元男鹿東中の4校で、地区大会を控えての最後の大会として開催されました。

当団は大気が心配される中、午前8時より開会式が行なわれ、引き続き、第一試合の男鹿東中対大正寺中の試合が、沢田専務の始球式で開始され、両校のエースの力投で、互いに好機にあと一本が出ず、両チーム無得点のまま、スペシャルルールが適用され、先攻の大正寺中の攻撃を〇点に押えた男鹿東中がその裏、先頭打者の安打でサヨナラ勝ちを收めました。

決勝は男鹿東中対天王南中の対戦となり、互いに1点を取り合い熱戦が期待されました。が、心配された雨が降り出し、グラウンド状態も悪くなり、主催者、出場校監督の協議により、ケガ等の心配もあるため、両校優勝とし、試合を終了しました。

表彰式はテント内で行われ、優勝旗を受けとり地区大会での互いの健闘を誓い合つていました。

懐かしの 旅行スナップ

あんな事、こんな事、いろいろ思い出します。



●昭和53年島海山にて（山形県側）



●平成2年
会津若松にて



●昭和55年天童にて



●平成10年 シンガポールにて



●平成7年韓国にて



●平成7年会津若松にて

